



## 第21号

平成23年5月20日発行

The Taki Town  
Council Newsletter



## CONTENTS

■ 東日本大震災お見舞い	2
■ こんなことが決まりました	3-4
■ 一般質問 定例会一般質問	4-7
■ 一部事務組合より	8
■ 現地取材報告	9
■ 全国町村議会議長会表彰	10
■ 議会のうごき	10
■ 次回定例会	10
■ たきの風	10

### まちの防災は我々の手で!

4月17日文化会館前で開催された

「消防団春季訓練」

発行:多気町議会 編集:議会広報特別委員会

住所:〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600

TEL:0598-38-1120

<http://www.town.taki.mie.jp/chousei/gikai.html>

謹んで震災のお見舞いを

申し上げます

このたびの東日本大震災により被災され、不幸にも災害の犠牲になられました皆様にも、まず心からご冥福と哀悼の詞を捧げますとともに、避難生活を余儀なくされている多くの被災者の皆様のご心労に衷心よりお見舞いを申し上げます。

多気町議会

議長 西川 清嗣

議員 一同

今回の大災害を受けられた東北・関東地方の被災者の皆様に復興の一助として、議会議員一同より心志の義援金をお贈り致しましたので、僭越ながらここに報告申し上げます。

# 新年度予算決まる!

一般会計予算 66億1,772万円 (賛成多数)

- 縁結び事業費 ..... 41万5千円
- のびのびパーク天啓整備事業費 ..... 5,400万円
- 福祉ボランティアポイント制度事業費  
(福祉ボランティア活動を行った方にポイントを発行) ..... 30万円
- 児童館建設事業費 ..... 1億6,618万1千円
- 福祉事務所設置に係る生活保護費など ..... 1億2,449万9千円
- 新しい農業者育成研修制度補助金 ..... 300万円
- 鳥獣被害対策事業費 ..... 729万2千円
- 佐奈小学校体育館改修工事費 ..... 4,882万5千円

## 特別会計等予算

	当初予算	議決結果
国民健康保険特別会計	15億9,893万円	賛成多数
後期高齢者医療保険特別会計	2億9,406万円	全員賛成
介護保険特別会計	14億1,816万円	全員賛成
住宅新築資金等貸付特別会計	2,248万円	全員賛成
農業集落排水事業特別会計	2億1,629万円	全員賛成
個別合併処理浄化槽整備事業特別会計	1億5,457万円	全員賛成
郡指導主事共同設置事業特別会計	1,162万円	全員賛成
水道事業会計 (内 勢和地域水道施設更新工事)	8億4,986万円 (2億8,008万円)	賛成多数
工業用水道事業会計	4,791万円	全員賛成
下水道事業会計	11億658万円	全員賛成
特別会計合計	57億2,046万円	-

(千円以下切り捨て)

こんなことが決まりました

第1回定例会3月9日～22日  
第1回臨時会2月23日

# 22年度一般会計補正額 3億8,833万円 総額は78億4,720万円に

## ○一般会計補正

(3月11日発生した東日本  
大震災の義援金も予算化)

○国民健康保険特別会計補正  
(総額15億8,599,1万円)  
全員賛成

○老人保健特別会計補正  
(総額 234万円)  
全員賛成

○後期高齢者医療保険特別  
会計補正  
(2億7,875万円)  
全員賛成

○介護保険特別会計補正  
(13億8,562万円)  
全員賛成

○住宅新築資金等貸付特別  
会計補正  
(総額3,277万円)  
全員賛成

○農業集落排水事業特別  
会計補正  
(総額2億2,518万円)  
全員賛成

○戸別合併処理浄化槽整備  
事業  
全員賛成

## 業特別会計補正

(総額1億1,714万円)  
全員賛成

○郡指導主事共同設置事業  
特別会計補正  
(歳出の組換補正)  
全員賛成

○水道事業会計補正  
(総額11億8,830万円)  
賛成多数

○下水道事業会計補正  
(総額11億8,933万円)  
全員賛成  
(千円以下切り捨て)

●多気町教育委員会委員の  
任命  
上村やよい氏(兄国)  
任期 平成23年3月1日～  
27年2月28日

○人権擁護委員の推薦  
中森 通弘氏(森荘)  
任期 平成23年7月1日～  
26年6月30日

## 人事

## 条例の一部改正

○多気町職員の育児休業等  
に関する条例の一部改正  
全員賛成

○多気町手数料徴収条例の  
一部改正  
全員賛成

○多気町国民健康保険条例  
の一部改正  
全員賛成

○多気町環境保全条例の一部  
改正  
(機構改革に伴う改正)  
全員賛成

○多気町美化センター設置及  
び利用条例の一部改正  
全員賛成

○委員会の委員等の報酬及び  
費用弁償に関する条例の  
一部改正  
(鳥獣被害対策実施隊員  
一日 9,000円以内を追加)  
全員賛成

●多気町ふるさと振興基金条  
例の一部改正  
全員賛成

## 条例の制定

●多気町住民生活に光をそそ  
ぐ交付金基金条例の制定  
(国の緊急総合経済対策に  
より基金を設置)  
全員賛成

○多気町暴力団排除条例の制定  
(暴力団の排除を推進する  
ための条例設置)  
全員賛成

○多気町生活安全活動の推進  
に関する条例の制定  
(防犯、安全活動の推進のた  
めの条例制定)  
全員賛成

## 指定管理者の 指定について

○多気町公の施設に係る指定  
管理者の指定  
※五桂池ふるさと村  
※ふれあいの館  
※元文の里  
全員賛成

## 専決処分の承認

○平成22年度 社会資本整備  
総合交付金事業 町道役  
場天啓線舗装工事の変更請  
負契約の締結  
(請負金額減額に伴う変更)  
全員賛成

## 発議 議員より提出 した議案

○多気町議会委員会条例の  
一部改正  
(課の名称変更による委員  
会の所管変更)  
全員賛成  
(●は、2月23日臨時会)

はい!!

# 質問

## 第1回定例会 8人が一般質問

3月定例会の一般質問は、3月11日に行われました。今回の質問者は8人で、防災、環境、福祉、などについて、町の考えをいただきました。

### 大丈夫か老後

前川 勝議員 4頁

### 戸別受信機

巨額の経費をかけて、本当に必要か

西川 浩議員 5頁

高齢者・障害者等災害弱者への対策の現状は

中森 一秀議員 5頁

どう進めるのか今後のごみ処理

寺村 龍介議員 6頁

農業の六次産業化の推進支援を

中野 正宣議員 6頁

発達障害児の教育支援に十分な対策を

山口 英子議員 7頁

町施設へ民間事業者の名称を

中西 敏雄議員 7頁

RDF発電所閉鎖と今後のごみ処理対策は

川辺 仁造議員 8頁

## 大丈夫か老後

**答** 地域福祉を支える人材育成を

**問** 65歳以上が3人中1人に迫る状況である。

町長は、高齢者の生きがいがづくりと、安心して介護が受けられる体制整備を図ると掲げているが、今後の高齢者福祉についての考え方を聞きたい。

町内老人福祉施設（特養、老健）が満杯で入所待機状態だが、現状に対する認識と対応を聞きたい。

現在ある高齢者通報体制（緊急通報装置）をもっと充実させ、より細かなサービスを行うてはどうか尋ねる。

何でも国・行政がやってくれる時代は終焉を迎えた。

そこで、将来の安心確保に特別な税あるい

前川 勝議員

は基金を創り多気町版「老後安心積立」を創設してはどうか考えを聞きたい。

**答** (町長) 地域の福祉を支える人材育成として、学校と地域が連携して福祉教育を推進する。(子供たちと高齢者のかかわりの強化)また、地域で支えあう社会づくり、(ボランティアポイント制度等)を考えている。

**答** (町民福祉課長) 特養入所希望者は133名であるが、他施設に入所され実質30数名が待機している。今後、調査をもとに来年度新たな計画

へ盛り込みたい。

通報体制は、個人の申請または民生委員の協力により設置している、現在80世帯の利用であり24時間体制で緊急時の対応をしている。

「老後安心積立」は、介護会計も大変厳しく受益者負担も増加する中、新たな負担は難しいので慎重な対応が必要と考える。

その他の質問  
PPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について



緊急通報装置

## 戸別受信機 巨額の経費をかけて、本当に必要か

**答** 大災害時、屋外スピーカーを補完するため

西川 浩 議員

**問** 廃止予定だった戸別無線機の計画が見直され、多気勢和地域全てに設置する方向で計画が進んでいるとの事だが、対費用効果として、それだけの防災機能があるのか。

設置、交換等に係る費用、期間などを問う。

**答** (総務課長) 設置、交換に約3億円。

年間維持費として200万を見込んでいます。

機械の寿命としてメンテナンスをすれば20年間ほど使用できる。

設置に際し、個人負担も今後の検討課題で

ある。

地区懇談会や、区長会からの設置要望によるもので、勢和地域からも要望があったものと考え

る。大規模災害を想定し屋外スピーカーを完備し、戸別受信機は、それを補う補完的な設備であり、設置に関しては検討を要する。

屋外スピーカーの設置数は、多気地域46基、勢和地域28基。計74基。1基の設置費用は500万円。年間維持費900万円。

### 町のホームページに、提案

**答** 質問などに答えるコーナーは直接担当へ

**問**

他の市町村では、住民からの質問等に答えるコーナーを作っているところが多くある。

多気町も「ご意見ご感想」のコーナーがあるが、寄せられた質問、意見などを一覧として残しておくコーナーを作ってはどうか。

**答**

(企画課長) 対応が必要な内容であれば、担当課にメール等で返信するよう指示している。住民からの質問は、直接担当課が対応し返事している。その他の質問 危機情報の教育機関への伝達を教育長に問う。



屋外スピーカー

## 高齢者・障害者等災害弱者への対策の現状は

**答** 勢和の火災報知器調査は終了次は多気を巡回

中森 一秀 議員

**問**

単身高齢者や高齢者だけの世帯また身体に障害を抱えている方々が日々の生活を安穩にそして安心して暮らせるために、次の3点の対策の現状を尋ねたい。

- ①住宅火災報知器の設置
- ②戸別防災受信機の設置
- ③TVのデジタル化対応チューナー等の設置

**答**

(総務課長) ①消防法の改正により火災報知器が義務付けられた。消防庁の全国火災集計では火災件数は減少しているが高齢者の犠牲者は増えている。この現

状を踏まえ、昨年勢和地区の一人暮らし老人105世帯を対象に、火災報知器の設置や緊急通報装置の状況、災害時の対応などを把握するため、勢和消防女性ささゆり隊の協力を得て、各戸を訪問調査した。なお調査結果は現在集計中。

多気地域は、平成23年度に訪問調査を実施する予定。火災報知器の町の助成措置制度は、今のところない。

②戸別防災受信機の設置については、町長の公約通り、導入に向け費用の負担の点を含め検討していく。

**答**

(企画調整課長) ③テレビのデジタル放送への移行は、それによつて不利益を被る人が生じないよう、国・県・町が協力して対策することが必要。

町も総務省からの支援制度周知通達を受け、町広報やHPを通じPRしている。

また町民福祉課では、生活保護世帯個々に連絡を入れ、その対応を促している。

その他の質問 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)とEPA(日豪経済連携協定)が、多気町の農畜産業に及ぼす影響は



店頭に並ぶ火災報知機

## どう進めるのか今後のごみ処理

**答** あらゆる選択肢を  
考えていく

寺村 龍介 議員

**問** 合併の弊害である二分化されたごみ処理だが、更新時期を迎える美化センター、また一方、RDFの香肌奥伊勢資源化広域プラザに於いては破たん状況にあり、平成32年が最終年度である。

これからの一般廃棄物処理施設は、様々な制約があり時間とお金の掛かるものであるが、町単独では不可能なのか、選択肢は複数ある。どう進めるのか早急に決める必要がある。どの道を進むのが良いと考えているのか聞きたい。

**答** (町長)

様々な選択肢のなか大台町・大紀町の首長と私が松阪市長の意向を打診したが、今としては受け入れが出来ないとの答えだった。しかし、今後もお願いしたいと思っている。

それと、現在のRDF《ペレット状の固形燃料》を購入し事業を考えている事業者がある。それも一つの方法とされている。

今後、時間をかけ事務レベルの段階で整理して、どの方向がいいのか検討していく。

二つ目は、今の広域連合で焼却施設を建設する方法、また、三つ目の方法として事務レベルで話をしたが、民間施設へ焼却を委託する事がある。



資源化プラザの正門

## 農業の六次産業化の推進支援を

**答** 国で予算化された総合対策事業を活用し支援していく

中野 正宣 議員

**問** 地域の農業を元気にするために、地域資源を活用した農業の六次産業化(※)を支援するべきと考える。

地域の農業者の知恵、意欲があつても、場所・資金・流通に苦勞している。どのように支援していくのか。

また、町内の団体が米粉を事業化しており、給食で利用できないか

合、施設補助も含め意欲ある農業者を応援し多気町の魅力ある農業、また観光面の振興も図ってきたい。

**答** (教育長)

食卓の洋風化が進んでいるが日本の食文化の中心は米だと思っている。米粉の促進については大事な問題だと思つては。六次産業により町内で作られた米粉を活用し献立を工夫検討していく。

**答** (農林商工課長)

本年度より新しい補助事業ができ、プランナー制度や新たに加工・販売に取り組む場

**問** 工業団地の造成が始まった。地権者との契約は5年であ

**答** クリスタル工業団地造成の今後と企業誘致の見通しは

企業立地で生き残り

る。膨大な経費をかけても誘致が出来なければ町民の負担だけが残る。企業誘致に向けて町長の考え、そして、工業団地の造成は今後どのように進めるのか。また、企業誘致ができない時、地権者にどのように説明するのか。

**答** (町長)

今、誘致は至難の技だと思つて。私は理解の深い町内の企業や議員等の紹介等で相手企業と心を込め話していく。誘致企業は職種を問わずお願いし、本造成は企業が決まってから進める。

土地の契約については地権者に感謝している。

【用語の解説】(文中※印)  
第六次産業化

農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表す。このような経営の多角化を六次産業化と呼ぶ。

## 発達障害児の教育 支援に充分な対策を

**答** 学校と保育園は緊密な連携で取り組み中

山口 英子 議員

**問** 各学校に支援学級が設置され、

子どもの特性に合わせて学級を選ぶ選択肢が広がった。多気町でも学校介助員の募集により年々増員されているが次の3点について質問する。

- ① 保育園からの繋がり
- ② 教師・学校介助員への専門的な指導と支援は
- ③ 町としての支援体制は

**答** (教育長)

① 障がいの種別や程度はみな異なる。その子に応じた支援が大切である。そのため学校と保育園は緊密な

連携をもって取り組んでいる。

② 教職員の研修は、県教育委員会や特別支援学校主催の研修会、巡回指導員や臨床心理士を招いての校内研修会などで、支援の在り方や指導方法を学んでいる。

③ 平成22年度に特別支援教育担当者連絡会議を設置すると共に、保生・中と一貫した引継ぎや支援ができる体制づくりを進めている。また、あすなる学園に教職員一人を1年間派遣し、専門的な知識や技能の取得を目指している。

## 町生産品のシェア拡大と相可校の活躍に 厚いサポート体制を

**答** 「高校生レストラン」TVドラマ化で全国に発信

**問** ① 伊勢自動車道多気PAに、多

気町PRの店を開店し生産品を販売できないか。

② 相可高校生の活躍が今回全国ネットでTVドラマ化が実現した。現況は。

**答** (町長)

① 多気PAはスペースがない。町内のいくつかの集客施設などを利用して生産物のシェア拡大を図っていく。

**答** (農林商工課長)

② 主演級の配役が決まった。全国放映により、多気町が大きな脚光を浴びることになる。この機会を活かし町の発展を考えていく。

## 町施設へ民間事業者の名称を

**答** 税外収入を確保する上で有効である

中西 敏雄 議員

**問** 現在景気の低迷により税収が減少している。

そのために税収以外の収入を確保しなければならぬ。そこで複数の町公共施設に民間事業者等に名称をつけていただき、使用料を

例え、あえて固有名称を出すことをお許し願うならばシャープ(株)に「町民文化会館」を「シャープクリスタルホール」というような名称をつけてもらい使用料をいただく。

このような手法は、皆さんがよくご存じの例では名古屋市南区の「レインボーホール」が

「ガイシホール」、中区金山の「市民会館」が「中京大学ホール」と名称が変わり、各社は名古屋市に相当な使用料を払っている。町としてこのような方法で税外収入を確保する考えはないか。

**答** (総務課長)

いろいろ問題はあろうと思うが、いい試みであると思うので検討していきたい。

## 火葬場建設は民間で

**答** 申し出があれば協力は惜しまない

**問** 火葬場建設を、行政ではやらないことになったが、民

間事業者から申し出があった場合どうするか。そこで一番問題となるのが用地の確保であると思う。また行政が金銭的な面も含めてどこまで支援できるか伺う。

**答** (町長)

今のところ申し出はないが、やりたいとの申し出があれば協議していく。



町公共施設

## RDF発電所閉鎖と 今後のごみ処理対策は

**答** 県の妥協案をめくりに  
関係市町で協議中

川辺 仁造 議員

**問** 県は、平成32年度にRDF発電所を閉鎖する方針であるが、県の責任の在り方問題と併せて、香肌奥伊勢資源化広域連合の今後の運営をどう考えているか。

また松阪市が新設する「ごみ処理施設」を多気・大台・大紀町の3町が利用を希望しているが、松阪市はこれを拒絶している。

今後の対策をどうするのか。また、町単独での焼却施設建設は不可能と考えるが見解を聞きたい。

**答** (町長)

県は、RDF発電所を平成32年まで延命措置する過程で、この間の処理費を上乗せする案を示してきたが3町ともに納得できないと返答、引き続き協議している。その後、県は妥協案として処理費単価を下げる案を示してきたが現段階では結論には至っていない。

松阪市の「新ごみ処理施設」の利用は一度断られたが、3



広域連合の事務所

**答** (環境課長)

広域連合では、平成22年度に一般廃棄物処理施設の基本構想計画を策定している。その計画に基づき、各連合関係市町で検討していく。

町で要望事項など内容をよく協議検討の上、再度お願いに行く予定。また、町単独での処理場や3町でのRDF処理を再利用するなどの話し合いはしていない。

## 一部事務組合より

### 宮川福祉施設組合議会

第1回定例会(於 大台町役場会議室)  
23年3月4日

- 職員の子育休業等に関する条例の改正
- 職員の給与条例の改正
- 平成23年度予算
- 平成22年度補正予算など
- 平成22年度サービス事業補正予算

### 多気町松阪市学校組合議会

第1回定例会(於 多気町議会議場)  
23年3月29日

- 職員の育児休業等に関する条例の改正
- 平成22年度補正予算
- 平成23年度予算

### 多気学校給食センター 管理組合議会

第1回定例会(於 多気町議会議場)  
23年3月29日

- 職員の育児休業等に関する条例の改正
- 平成22年度補正予算
- 平成23年度予算

### 松阪地区広域消防組合議会

第2回臨時会(於 松阪市議会議場)  
23年3月24日

- 平成23年度予算
- 平成23年度市町分担金

# 六次産業創出を求めて、 地域農業活性化へ再スタート！ — 波多瀬・元丈の里営農組合の取り組み —

今日日本の農業は、経営者の高齢化、後継者不足などが要因となって農地の荒廃が危惧されている。

そのような中で、波多瀬集落も例外に洩れず、これまで地域で守ってきた大切な農地が耕作放棄地となり悩みの種となっていた。

これらの問題を解決しようと、平成二十年十二月集落営農組織「元丈の里営農組合（構成組合員40名）」を設立、地域活性化に向けて動き出した。

当初は、農地の集積（20畝）利用から始め、現在は麦、大豆の委託



委員に畑を視察する

生産（集団転作4畝）に着手、更に遊休農地対策として「米粉用米」の作付け（10ア）の他、企業・大学と連携して「黒ニンニク（10ア）」の栽培、「ゆず（53ア）」の植栽、農協へ「カット用白菜（20ア）」を出荷

している。その外、茶、シイタケ、山菜、薬草、野菜など、地域産物の作物も出荷する。

今年度から新規事業として国の補助事業である六次産業創出総合対策事業を活用、米粉の生産・加工・販売に積極的に取り組む計画を進めている。

保育園の統合で閉鎖した旧園舎を六次産業活性化施設「元丈の里・ゆめ工房」として営農組合とは別組織で利用し、町等補助で導入した米粉製

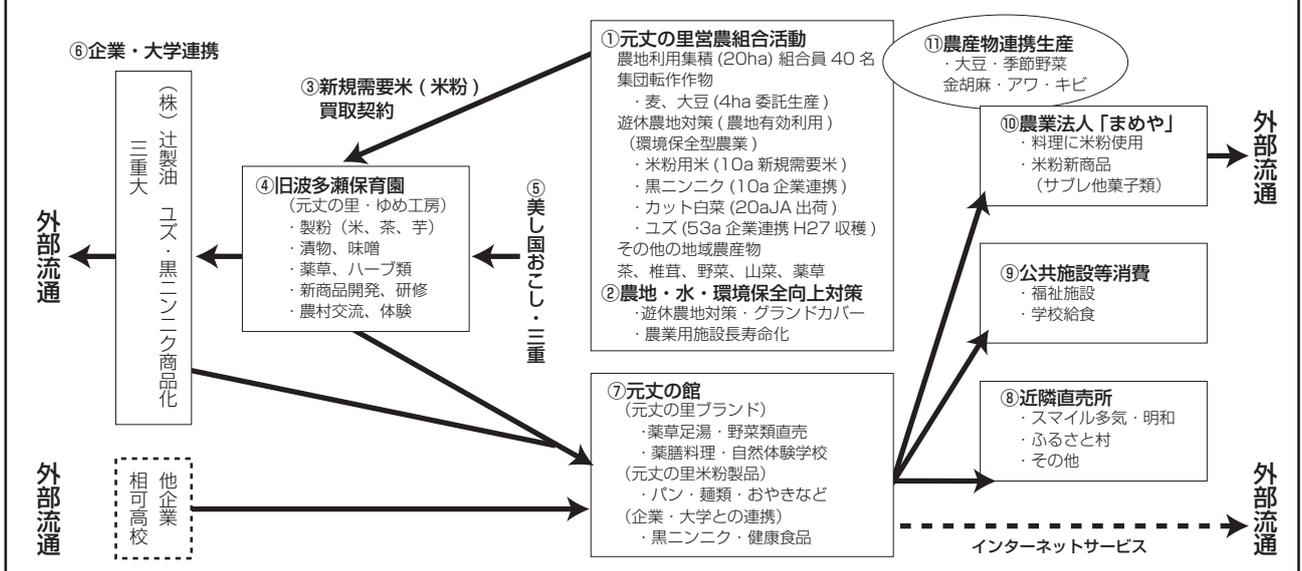


米粉の製造

造機で加工、袋づめして販売の他、米粉を使ったパン・おやき・麺などを開発し今までの以上の販路拡大を目指している。今後は、地元の農業法人「まめや」や地域活性化施設「元丈の館」、農協直売所「スマイル」、「ふるさと村」「ふれあいの館」などの他、一般企業からの注文にも対応していく方針である。

この取り組みが、将来も農地を荒らすことなく最大限に活用していける地域農業・地域社会のモデルとなることを期待する。

## 元丈の里 6次産業 活性化構想 (三重県多気町波多瀬・元丈の里 営農組合)



# 永年勤続

## 議員表彰

2月9日開催された、第62回全国町村議会議長会定期総会で、寺村龍介議員が在職27年以上、西村茂議員が在職15年以上の永年勤続議員で地方自治発展の功労者として「全国町村議会議長会表彰」を受けられました。



西村 茂 議員



寺村 龍介 議員

## 議会のうごき

### 2月 February

- 21日 議会運営委員会  
三重県町村議会議長会理事会
- 22日 財政援助団体等監査及び指定  
管理者監査
- 23日 第1回議会臨時会(午後より町内  
企業訪問)

### 3月 March

- 2日 議会運営委員会
- 8日 中学校卒業式
- 9~22日 第1回議会定例会
- 18日 小学校卒業式

### 4月 April

- 1日 多気町福祉事務所開所式
- 6日 小学校入学式  
中学校入学式
- 8日 広報特別委員会(19日、5月2日)
- 14日 多気郡議長会
- 22日 議員懇談会
- 26日 総務産業土木常任委員会



## たきの風

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災、あれから、二か月余りが過ぎ少しは落ち着かれたでしょうか。大変難しいの  
だろうけど、ささやかな安らぎを取り戻され一日も早い復興  
を願わずには居られない。

さて、今回の議会だよりは、広報委員全員が一月末に研修  
を受け、より沢山の皆さんに読んで頂きたく刷新しましたが、  
いかがでしょうか。感想、ご意見等を頂ければ幸いです。

(M.M)

議会事務局 FAX(38)1140 E-mail gikai@town.mie-taki.lg.jp

## 次回定例会の予定

《開催日時》

平成23年第2回定例会

6月21日(火)午前9時から(予定)

《開催場所》

庁舎2階 本会議場

今回より定例会の様子は、ケーブルテレビで  
生放送する予定です。

また一般質問は録画放送もします。

放送日時等は、決まり次第ケーブルテレビ等  
でお知らせします。

### ■ 第20号の訂正お詫び

第20号(2月18日発行)の前川勝議員の一般質問中、有害捕獲頭数の  
数字が違っていましたので訂正しお詫びいたします。

鉄砲 猿30頭→10頭 鹿3頭→30頭